

いしのみき 社協だより

編集と発行 社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

令和6年9月25日

第96号

〒986-0825 石巻市穀町15-2

TEL 0225 (96) 5290 (代)

FAX 0225 (96) 5223

<http://www.ishinomaki-shakyo.or.jp>



能登半島地震被災者支援 災害ボランティア活動



第96号

の
主
な
内
容

本号のテーマ『ボランティア』

● 能登半島地震被災者支援

災害ボランティア活動

● 第1回災害ボランティア講座(初級編)

● 共同募金委員会からのお知らせ

● ボランティア団体紹介

● こども友遊村開催案内・報告

● 世代間交流事業

● 福祉のつどい開催報告

● 発見! 『地元の福祉』掲示板

● ボランティアセンター通信

● おらいのアイドル

● ひろがる善意の輪

● 赤い羽根共同募金コラボピンバッジ

能登半島地震発生から半年。

令和6年6月28日から30日までの日程で、石川県志賀町へ災害ボランティアバスを運行しました。

今回、初めて石巻圏域2市1町の社会福祉協議会が協働で実施した支援活動は、参加した住民のみならずのあたたかい思いが届く活動となりました。

能登半島地震被災地へ災害ボランティアバスを運行しました

令和6年6月28日(金)から30日(日)までの日程で、石巻圏域の住民19名と2市1町社協職員4名が石川県志賀町において、災害支援活動を行いました。

片道10時間かけて石川県に移動し、活動日の29日は3班に分かれて被災家財などの搬出作業を行いました。当日はとても暑く、15分ごとに休憩をとりながら軽トラック4台で置き場まで2往復し、倒壊したブロック塀や屋根瓦を運びました。

活動先の住民とお話しする中で「石巻からきてくれてありがとう」と涙を流す方がおり、寄り添うことも大事なボランティア活動であると気付かされました。

石巻への帰り道、参加者からは「13年前のありがとうを伝えられて良かった」「一人では実行できないことも、みんなでやればできることもある」といったあたたかく前向きな声がたくさん響き合いました。みなさま、本当にありがとうございました。

バス内のオリエンテーション



倒壊したブロック塀の搬出



家主さんとのコミュニケーション



参加者の思いが形に



令和6年度第1回災害ボランティア講座(初級編)の報告

令和6年7月20日(土)、石巻市ささえあいセンターを会場に災害ボランティアの実践者で、高校教諭でもある岡田卓也氏を講師に『災害ボランティアって何をするの?』をテーマにした講座を開催しました。当日は災害ボランティア活動未経験者や、これから活動をしようとしている人など、中学生から70代まで16名の参加がありました。

前半は、岡田氏の実体験を基に、ボランティア活動のノウハウを学び、後半は、活動時の持ち物や現地で使用する用具について学びました。

今回の講座をきっかけに『できる時にできる人ができることをする』というお互い様の活動が広がっていくことを願っています。



今回参加してくださった、お二人に感想等をお聞きしました。



永井 友之さん
30代 会社員

Qなぜ受講しようと思ったのか

能登半島地震のニュースで見て、困っている方に対し、自分にもできることがあるのではないかと思います。東日本大震災で被災した経験や家族が災害看護師をしていることも受講のきっかけになりました。

Q講座はどうでしたか

ボランティアという言葉は良く耳にしますが、闇雲に思いだけで行動するのではなく、行動を起こす前に、今回のように『知ること』も大事であると気づけました。

Q今後どのように活かしたいですか

今日学んだことを活かし、8月に石川県へボランティア活動に行こうと考えています。



佐々木 理沙さん
高校3年生

Qなぜ受講しようと思ったのか

高校の掲示板を見て申し込みをしました。東日本大震災で家族を亡くし、当時は幼かったので、災害の理解ができませんでした。今大人になり、自分なりに学び、少しでも自分のように悲しむ人を減らしたいと思い受講しました。

Q講座はどうでしたか

災害ボランティア活動はしたことがありませんが、体験談や道具を使った講座で、ボランティア活動のイメージが沸きました。

Q今後どのように活かしたいですか

大学に進学し、地域防災などについて学んでいきたいと思っています。



赤い羽根共同募金運動が10月より始まります

児童・青少年福祉活動費



マタニティ・ベビーフェスタ

共同募金配分事業

福祉育成・援助活動費



小学校での福祉学習

老人福祉活動費



あんしんカード設置事業

赤い羽根共同募金運動は『美しく心やすらぐふるさと』をスローガンに取り組み、みなさまからご協力いただいた募金は、高齢者や障害児(者)、福祉学習やボランティア育成等の事業に活用されます。

あたたかい地域づくりのため、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

運動期間 10月1日～12月31日

令和5年度実績報告

募金総額

18,089,220円

令和5年度にみなさまからご協力いただきました募金は、宮城県共同募金会へ全額送金し、令和6年度に各市町村社会福祉協議会や県内福祉団体等に配分され、地域福祉のために活用されています。

共同募金委員会	募金額	石巻支所内訳	
石巻支所	11,160,825円	市役所区分	募金額
河北支所	1,881,440円	本庁	5,949,285円
雄勝支所	263,408円	渡波支所	2,384,640円
河南支所	2,747,773円	稲井支所	729,300円
桃生支所	1,065,238円	荻浜支所	92,800円
北上支所	397,661円	蛇田支所	2,004,800円
牡鹿支所	572,875円		
合計	18,089,220円		

災害義援金を募集しています!

現在下記義援金を募集しております。みなさまのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

●令和6年能登半島地震災害義援金

受付期間：令和6年1月5日(金)～令和6年12月27日(金)まで

●令和6年度秋田災害義援金

受付期間：令和6年8月1日(木)～令和6年12月27日(金)まで

●令和6年7月山形県大雨災害義援金

受付期間：令和6年8月1日(木)～令和6年12月27日(金)まで

●令和6年7月大雨災害義援金

受付期間：令和6年8月2日(金)～令和6年12月27日(金)まで

詳細内容につきましては、各都道府県共同募金会または、石巻市社協WEBサイト「赤い羽根共同募金」ページよりご確認ください。

赤い羽根共同募金



被災地へ、みなさまの想い届けます!

vol.4

～令和6年能登半島地震災害義援金～

【令和6年7月ご支援をいただいたみなさま】

- グラスアート・キャセドラル様
- おたから健康体操おたからのわ「結」メンバー一同様
- ABCバンド合戦Vol.3 at La Strada様
- 広瀨町上地区会様

義援金総額

2,043,780円(69件)

※令和6年7月31日現在



広瀨町上地区会様

ご支援いただきましたみなさまにつきましては、石巻市社協WEBサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。



ボランティア団体紹介

桃生地区子育て支援グループ『どんぐりの会』

桃生

～親子であそびに行きませんか？～

地域の子どもたちの健やかな成長と子育て中の若い方々がより楽しく子育てができるよう支援することを目的に、平成19年に発足しました。

元保育士や幼稚園教諭、民生委員・児童委員等が中心になり、桃生地区子育て支援センターキッズホームを会場に『どんぐり子育て広場』という事業を開催しています。

七夕会、クリスマス会、豆まきなど、季節行事を実施したり、人形劇・紙芝居などの活動もしています。人形劇などでは拍手喝采を受けることや、失敗もありますが、自分達が楽しんで一生懸命やれば、観ている子どもたちも楽しんでくれるとの想いで頑張っています。

また、保護者を対象とした、防災士による『防災講座』やインストラクターによる『ヨガ体験』も実施し、親子で関われる事業を展開しています。



河南

読み聞かせボランティア『お話びっくり箱』

～今日はどんな本を読もうかな？～

読み聞かせを通して図書への関心を高め、情緒の育成及び読書の推進を図ることを目的に、平成16年から和瀨小学校、和瀨保育所、子育て支援センターパプラで絵本等の読み聞かせを行っています。

「絵本から広がるたくさんの世界を子どもたちに届けたい」「自分たち自身も楽しむことを忘れない」そんな想いで子育てに一段落ついた50代から70代のメンバー 10名が交代で活動しています。

活動から20年が経ち、先日「読み聞かせしてくれて方ですよ。覚えてますか？」と街で声を掛けられ、びっくりするやら嬉しいやら。活動を始めた頃、読み聞かせを聞いてくれた子どももすでに社会人になっていました。私たちの活動がつながり続けるきっかけになっていると実感できました。

これまで続けてきたこの活動。今は勇退された80代のメンバーに感謝し、引き継いだバトンしっかり握りしめ、これからも活動を続けていきたいと思ひます。



読み聞かせボランティア『ひだまりの会』

河北

～物語の世界観に浸ってみませんか？～

『絵本や物語の世界観を子どもたちや地域の方々と共に楽しむこと』を目的に平成13年1月に発足し、現在14名の会員が活動しています。発足してからは、小学校・公民館・子育て支援センターを会場に、子どもたちを対象として読み聞かせや紙芝居等の活動を続けていますが、現在では高齢者の方を対象に地域で実施されている生きがいデイサービスの講師として呼んでいただくなど、活動の幅も広がってきました。

「この本楽しそうだな」「これを読んだらどんな反応してくれるんだろう」と準備の時はワクワクしながらも、始まる前は何年経っても緊張してしましますが、みんなで助け合いながら自分たちも楽しむことを忘れずに頑張っています。これからも子どもたちや地域の方々のために、和やかな時間と笑顔をお届けしていきたいです。



唄と踊りのボランティア『きんぎょの会』

石巻

～金魚のようにヒラヒラ舞います～

市内さまざまな地域から集まったメンバーで、唄や新日本舞踊、はねこ踊りなどを披露しています。特に、賑やかな雰囲気盛り上がるはねこ踊りや男子高校生の踊りが人気です。

活動が始まったのは、新型コロナウイルスの感染拡大が始まる一年ほど前から。「高齢者施設に入所している方々を元気づけよう」と始まりましたが、訪問することで逆に私たちが元気をもらい、活動を継続することができています。今では活動の幅も広がり、施設だけでなく町内会やサロンからも声をかけていただけるようになりました。

みんなと笑顔で手拍子をしながら、いつまでもつながっていただける活動を続けたいと思っています。



『レザークラフトサークル』

～感謝の想いをいつまでも繋げるように～

東日本大震災後に兵庫・姫路より復興支援で寄せられた革のタペストリー。「支援いただいたことを忘れず、感謝の気持ちをいつまでも大切にしたい」という想いから地域の有志で有効活用について話し合いを重ね、その革を材料に革細工を作ろうと活動が始まった『レザークラフトサークル』。現在は5名の会員で毎月2回、保健医療センターひまわりで活動しています。



雄勝で革細工をしている方を講師にお呼びし、地域を超えた繋がりも生まれています。革を活用したクッション作りから始まり、現在は眼鏡ケースなどの革細工にもチャレンジしており、今後は作成した革細工を、地域内のひとり暮らし高齢者へお配りし、地域の繋がりをさらに広げていくことを目標に活動しています。

北上

水浜『楽笑唄』

～誰かのために想いを繋げる～

『楽笑唄』は、震災後、地域の方々が集まる機会づくりのため活動が始まり『誰かのために』をモットーに、施設を慰問しての芸披露などボランティア活動を行ってきました。

しかし、コロナ禍においては活動が制限され、それまで行ってきた活動を継続することが困難になったため、月1回程度のサロン活動の中で、お茶のみをしながら、ビーズを使ったアクセサリー作りを行い、地域の高齢者へ配付する活動などを続けています。

そんな中「何かに活用してほしい」と渡波在住の方からビーズと革ひもをいただきました。メンバーのみんなが『誰かのために』という想いをつなぐため、ビーズのストラップを作り上げました。

できあがったストラップは見守り活動を行っている山下地区、湊地区で活用されるとのことです。わたしたちの想いが届きますように。



雄勝



『絵てがみサークル ふきのとう』

～心を込めた一枚、届けます！～

『絵てがみサークル ふきのとう』では、届く相手を想いながら、一枚のはがきに季節の花や野菜など心を込めて描き、伝えたい気持ちを添える絵てがみサークル活動を牡鹿保健福祉センター清優館を拠点に行っています。

公民館での絵手紙教室をきっかけに始まった活動も今年で20年。『上手くなくても一人一人の個性が面白い』『上手に描きたい気持ちと自分の描いた絵へのギャップがまた良い』のが絵てがみの魅力。

そんな魅力的な活動が「声をかけてくれる仲間がいることがうれしい」と震災で地域を離れたメンバーにとっても仲間と集まるきっかけにもなっています。

作成した絵てがみは石巻市社協牡鹿支所の一人暮らし高齢者への声掛け郵便事業などで活用されており、地域の方からは「季節を感じる絵てがみが届くのが楽しみ」と好評の声が届いています。これからも地域の絆を深める『心を込めた絵てがみ』をお届けしていきます。



牡鹿

こども友遊村

こども友遊村は、各地区の主任児童委員の方々が中心となり、昔ながらの遊びを通じて世代間の交流を深めることを目的として開催される事業です。

開催報告

6月15日(土)、向陽地区コミュニティーセンターを会場に「こども友遊村」を開催しました。会場にはバルーンアートやシャボン玉、輪投げなど8か所のブースが設けられ、子どもから大人まで約140名の方が参加されました。元気いっぱい楽しむ子どもたちや、懐かしむ大人たちの様子がみられ、ともに笑顔あふれる時間となりました。



開催案内

みんなあそびにいでよ♪

第12回ものう子ども友遊村

開催日時：10月5日(土)
9:30~11:30
会場：中津山第一小学校



第14回かなんこども友遊村

開催日時：10月26日(土)
10:00~12:00
会場：遊楽館 アリーナ
※かなんまつりと同時開催



第9回北上こども友遊村

開催時期：11月予定
会場：北上保健医療センター
「ひまわり」



世代間交流とは？

少子高齢化、核家族化が進み、家庭内で高齢者と子どもが関わる機会が減少する中、地域において世代を超えたつながりや相互理解を深めることを目的とした活動です。

石巻市社協では、学校や民生委員・児童委員協議会など様々な地域団体と協働し、高齢者から子どもの各世代が、昔の遊びやレクリエーションを楽しみながら交流を図る機会を、各地区で設けています。

『福祉のつどい』が開催されています

在宅高齢者等の閉じこもり予防を目的に各地区で民生委員・児童委員等が企画運営し、高齢者の交流会『福祉のつどい』が開催されています。

各地区の民生委員・児童委員が地域の中で拾った声をこの場で形にしています。

コロナ禍後ということもあり、出かける機会の減少を解消するため、健康・フレイル予防などについての講話や保育園児との交流や演技披露など趣向を凝らした内容で、参加者から喜ばれています。

蛇田地区



湊地区



発見! 『地元の福祉』 掲示板

子どもから大人まで障害の有無に関わらず、地域のみなさまへ必要な福祉情報が届くよう、他団体の取り組みや地元企業の貢献活動を紹介します。

『石巻市女川町自立支援協議会』ってな～に?

自立支援協議会とは、地域にお住まいの障害をお持ちの方の暮らしを支える体制整備について中核的な役割を果たす協議の場です。自立支援協議会では、地域の実情に応じた課題やニーズに対応していくため、令和6年度、5つの専門部会を設置し、医療、福祉、教育、行政等、総勢46機関からなる58名の関係者が集まり、分野を超えて意見を交わしています。その内容は自立支援協議会の全体会へ報告され、石巻市女川町への提案等も行われています。



今年度からは医療機関の力もお借りし、医療的なケアを必要とする方や重度心身障害の方への支援策について協議が開始されています。障害を持つ方が暮らしやすい街になるように、関係機関や地域の人が力と知恵を出し合い、必要な機能や資源の創出へ発展していくことを目指しています。

社会貢献活動に取り組んでいる企業紹介

『若生工業株式会社』 ～地域に根差した企業を目指して～

◆庭は地域の憩いの場
(社内敷地の一般開放)



◆環境・美化活動の推進
(育てた苗木を遊歩道への移植及び清掃活動)



創業92年。総合建設業として土木・建築関係の公共事業等に幅広く取り組み、地域の都市基盤づくりに携わってきました。石巻地域と共に成長・発展してきた弊社にとって地域の将来に貢献することは大きな目標となっております。常時一般開放をしている庭にはたくさんの方が訪れ、春のみならず季節ごとの花や木々をそれぞれ楽しんでいただいております。

これからも、より安全な施工、より高度な品質、より進化した技術に組み込み、地域・市民の皆様のために、確かで快適な環境作りに貢献したいと思っております。

住所 石巻市清水町二丁目3番3号

電話番号 0225(94)1111

Webサイト <http://www.wakoinc.co.jp/>



ボランティアセンター通信

各種講座の開催案内

【お問い合わせ先】 ボランティアセンター 0225(96)5290

令和6年度 「第2回レクリエーション講座」

地域のサロンやお茶会、施設などで活用できる
レクリエーションを学んでみませんか?

- 内 容**：身近な物を活用! コミュニケーションゲーム
アイスブレイキング(手遊び)、介護予防体操、コミュニケーションゲーム
- 講 師**：NPO法人宮城県レクリエーション協会 副会長 山内 直子 氏
- 開催日時**：11月2日(土) 午前9時30分～11時30分
- 会 場**：石巻市ささえあいセンター 3階ささえあいホール(穀町15番2号)
- 対 象 者**：地域サロン実践者及びレクリエーションに関心をお持ちの方
- 持 ち 物**：筆記用具、タオル、飲み物 **定 員**：35名
- 参 加 費**：無料 **申込締切**：10月25日(金)

災害ボランティア登録制度

石巻市社協では、近年自然災害が多く発生していることや、東日本大震災での経験をふまえ、平時からの備えとして災害ボランティア登録制度を設けています。災害が発生した場合、市民みなさまのご協力をいただき『たすけあい活動』を進めてまいります。

※登録条件 15歳以上
(18歳未満は保護者の承諾が必要)



石巻地区
たかはし かなと
高橋 奏翔ちゃん



山下地区
はたけやま はると
畠山 陽翔ちゃん



蛇田地区
さとう あおと
佐藤 蒼斗ちゃん



渡波地区
たかしま えな
高嶋 咲凧ちゃん



渡波地区
もり なみと
森 波都ちゃん



渡波地区
きむら くおん
木村 琉園ちゃん



稲井地区
みつうら はるき
三浦 暖生ちゃん



河北地区
やくわ なおな
八織 奈暖ちゃん



河南地区
やました りひと
山下 璃仁ちゃん



河南地区
すがわら あいる
菅原 明衣瑠ちゃん

石巻市内にお住まいの、3歳くらいまでのお子さまの写真を募集しております。おらいの(私の家の)かわいいアイドルを、ぜひご紹介ください。掲載内容については、「お子さまの写真」、「お名前(よみがな)」、「お住まいの地区名」です。

(写真データサイズは5MB以内)

※ご好評につき掲載までに時間がかかる場合があります。お子さま一人1回限りの掲載となりますので、ご了承願います。

また、兄弟や姉妹での応募の場合、1枚の写真と一緒に写っている画像をお願いします。

【お問い合わせ】本所または各支所まで、電話かメールでご連絡ください。メールアドレス：honsho@ishinomaki-shakyo.or.jp



↑応募はこちらから

赤い羽根共同募金 コラボピンバッジ

宮城県共同募金会では、仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」とコラボしたピンバッジを製作しています。第12弾となる「むすび丸ピンバッジ募金」は宮城県内の防災力を高めることを目的に、防災資機材の整備に活用されます。

また、今年度は東北楽天ゴールデンイーグルスとのコラボピンバッジを製作します。こちらのピンバッジ募金につきましては、県内市町村の福祉事業に活用されます。

10月1日から1個500円にて頒布します。在庫がなくなり次第終了となります。

みなさまのご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】
地域福祉課 0225(96)5290



今年のデザインはコチラ



- 石巻支所
 - ・日黒和義様
 - ・(有)一宮調剤薬局様
 - ・匿名3件
- 生活支援課
 - ・匿名1件
- 河北支所
 - ・株式会社ぱれっと上品様
 - ・吉野・岩崎地区さくら会様
 - ・高橋奈緒樹様
 - ・匿名1件
- 桃生支所
 - ・齋藤辰二郎様
- みどり園
 - ・岡埜栄泉様
- かしわホーム
 - ・岡埜栄泉様
 - ・匿名2件

みなさまからお寄せいただきました寄附金、寄附物品につきましては、各種サロン助成等や地域福祉事業に活用させていただいております。

ご寄附につきましては随時受け付けておりますので、みなさまからのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年6月1日～
令和6年7月31日までの受付分



いしのまき社協だよりについてのアンケートにご協力ください

いしのまき社協だよりをご覧いただき、ありがとうございます。みなさまに身近な福祉情報をお届けするために、アンケートへのご協力をお願いいたします。

【回答期限】
令和6年9月25日(水)～10月31日(木)

【回答方法】
右の二次元コードを読み取りご回答ください。



編集後記

「ボランティア」という言葉は耳にしても実際に何をしているんだろう？その活動者や実践者の『声』を本号ではたくさん掲載してみました。ボランティアの形は様々ですが、人に寄り添うみなさんの姿がいいなと感じました！

石巻市社会福祉協議会 各支所 お問い合わせ先

総務課	〒986-0825 石巻市穀町15-2
地域福祉課	☎0225-96-5290 FAX 0225-96-5223
ボランティアセンター	
生活支援課	〒986-0032 石巻市開成1-26
	☎0225-92-6733 FAX 0225-96-2613
(公営住宅等見守り連携室)	☎0225-23-3911 FAX 0225-23-3912
河北支所	〒986-0132 石巻市小船越字山畑417-54
	☎0225-62-1077 FAX 0225-62-1079
雄勝支所	〒986-1333 石巻市雄勝町雄勝字下雄勝12-42
	☎0225-61-3011 FAX 0225-61-3022
河南支所	〒987-1101 石巻市前谷地字黒沢前35
	☎0225-72-3725 FAX 0225-72-2408
桃生支所	〒986-0313 石巻市桃生町中津山字八木157-1
	☎0225-76-1020 FAX 0225-79-1018
北上支所	〒986-0202 石巻市北上町橋浦字大須215
	☎0225-67-3025 FAX 0225-61-7024
牡鹿支所	〒986-2523 石巻市鮎川浜清崎山7
	☎0225-45-2684 FAX 0225-45-2785